



## 療育ってどんなもの？

### A. 障がいのある子どもの発達を促し、自立して生活できるようにする援助の取り組みのことなの。



療育は基本的に18歳以下の児童を対象としているの。

身体障がい、[知的障がい](#)、[精神障がい](#) ([発達障がい](#)を含む)の3障がいや[難病](#)のいずれかに該当する障がいのある児童が療育の対象となっているのね。

身体に障がいのある子どもは機能訓練を受けたり、知的に障がいのある子どもへは認知機能を中心にしたアプローチをしたり、年齢や障がいの種類によって受けられる療育の内容は様々にあるのよ。

大きく分けると、公費で受けられる発達支援などの公的な療育と、主治医の判断で治療の一環として行われる医療機関での療育、または私費で受ける療育があります。

発達障がいに関していえば、名前に「障がい」という文字が入っているけれど、いわゆる「病名」ということではありません。

特有の道のりをたどってゆっくりと発達していく少数派の人たちを指している専門用語なのね。なので、「訓練」という考えかたとは違うものになるの。

とても大雑把な言い方になるけれど、[発達障がい](#)というのは「脳の発達のしかたが一般集団のそれから大きくずれているために、その年齢に出来てしかるべきことが上手にできない」状態のことを指すのね。

なにが上手にできないか、は[ASD](#)、[ADHD](#)、[LD](#)、[知的障がい](#)など、それぞれの障がいの特性によって違ってくるのよ。

でも、まったくできない、というわけではなくて、上手にできないけれど、その人なりに出来るようになる。

時間はかかるかもしれないし、身に着けたものも万全ではないかもしれないけれど、その人のやり方でできるようになっていくのね。

それを見つけて出していくことが療育、というものだと思っているの。

この世の中は[少数派\(マイノリティ\)にとっては生きづらくできている](#)し、発達障がいのある人はさまざまにストレスに敏感、という一面があるわ。

どうしても[二次障がい](#)になりやすい、というリスクも抱えているのね。

発達障がいの人たちは、発達において少数派(マイノリティ)な、特殊な発達の仕方をしている人たち、なの。

なので、できないからといって「訓練」するよりも、発達マイノリティとしての「支援」が優先となってくるのね。

二次障がいも、先にしかるべき支援がなされていれば減らせるはずのものだから。

発達障がいの療育、というのは、親や周りの大人が、その子どもの発達のクセを見つけて知ってあげることが重要なことなのよ。

クセが解れば、どういうふうにならできるようになるか、その人なりのやり方がなにか、が見つけやすくなるでしょ。

その子どもは、どんな特性でどんなクセを持っているのか、を支援する人たちが学ぶ場でもあるのね。

それぞれの子どもが、お互いに仲良くなれるスキルを見つけられることも目標のひとつで、お父さんやお母さんと仲良くなれることも大切な目標のひとつ。

これを子どもの訓練の場、と捉えらるとつらくなってしまうと思うの。

安心できる場所で、味方になってくれる人たちと、自分のペースでいろいろなことを学ぶ場、が療育というものであってほしいと思うの。

## [《MENU》](#)

[《どんな事業所が良いんだろう？》](#)

[自立支援協議会って？》](#)

2022-10-17 掲載